



理 念

働く人と地域のために

患者中心の最善の医療を実施します

Contents

巻頭言	1
関東労災病院地域医療連携室の担う役割	1
呼吸器外科	2
インターネットを利用した オンライン予約サービスのご案内	3

巻頭言

病院長 佐藤

譲

日頃、関東労災病院の診療、運営面に多大なご支援を頂きまして、厚く御礼を申し上げます。今後も地域のクリニックの先生方との連携を強めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

当院は本年4月より がん診療連携拠点病院の指定を受けましたが、従来の胃・大腸・肺の悪性腫瘍に加え、乳がん、肝胆膵領域の悪性腫瘍の手術に広く取り組む一方、新たに放射線治療部長の着任を機に頭頸部、乳房、前立腺の放射線療法を積極的に行っていく予定です。政策医療として国からのミッションである勤労者医療の面でも、脳卒中、糖尿病、癌の治療就労両立支援を着実に押し進めております。

また神奈川県で地域医療構想の素案が策定され、将来にわたって2次医療圏において、各々の病院が分担すべき医療機能の検討が進められております。

更に昨年10月より導入された制度として「医療事故調査」がありますが、国が定めた「医療行為に関連した予期せぬ死亡、死産」に病院としてはこれまでどおり、誠実に向き合っていきたいと存じます。

このように病院を取り巻く医療情勢は目まぐるしく変化しており、医療機関は激動の渦中にあると言えますが、地域の皆様のご協力のもと、地域のランドマーク病院として当院は皆様から信頼される病院づくりを目指して安心安全な医療を提供し続けなくてはならないと存じます。よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます次第です。

関東労災病院地域医療連携室の担う役割

地域医療連携室長 岡崎 裕司

いつも病病・病診連携では本当にお世話になっております。前号で石丸副院長からも報告がありましたように本年3月24日に国から「地域がん診療連携拠点病院」の指定書を賜りました。これも皆様のご協力とご支援の結果と感謝しております。

また同時に、二人に一人ががん患者である高齢者社会において「地域がん診療連携拠点病院」としての当院の地域医療連携室の役割については継続的に急性期医療と回復期医療あるいは維持期の在宅医療、介護における地域医療連携に患者さん中心の医療の実践のために力を注いでまいりたいと考えております。

患者、地域住民目線でのアプローチが“病気と闘う医療”から“生活に戻すための医療、予防・共存する医療”への転換に必要不可欠であることが重要と心得て、地域住民の方々と“出前出張講座”と銘打って理学療法士による健康体操指導や、感染管理委員会による手洗い実習や感染予防のお話なども行って参りました。

そこで、がん診療においても努力を惜しまず皆様と共に中原区の“地域包括ケアシステム”の構築の一翼を病院一丸となって担って参りたいと考えています。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

最後にお知らせですが9月12日(月)には中原市民館において国際医療福祉大学の高橋泰先生をお迎えして「地域医療構想において各医療機関に求められるもの」をテーマに地域医療連携講演会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

呼吸器外科

呼吸器外科部長 足立 広幸

平素より当院の呼吸器科・呼吸器外科診療にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成28年6月より前任の渡部に引き続き、横浜市立大学外科治療学教室からの派遣により呼吸器外科部長に着任いたしました足立広幸と申します。

すでに先生方には多くの患者様をご紹介いただいておりますが、改めて、当院呼吸器外科のご紹介をさせていただき今後のさらなる医療連携充実へとつながれば幸いです。

診療内容

当科治療の対象となる疾患は①原発性肺癌、②自然気胸、③転移性肺腫瘍、④縦隔腫瘍、⑤悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、⑥胸壁腫瘍、⑦気管腫瘍、⑧難治性肺感染症、⑨横隔膜疾患、⑩胸部外傷、と多岐にわたります。これらに対し当科では手術を中心とした治療を提供しております。今回は主な3疾患につき説明させていただきます。

①原発性肺癌

当院では以前より肺癌手術においては患者様の身体的負担の少ない胸腔鏡下手術を導入しており今後も継続していく予定です。一方で、肺は『呼吸』をつかさどり生命に直結する臓器でもあります。癌の根治性が変わらなければ切除する肺の量が少ない方が呼吸状態は安定し、患者様にはより低侵襲となります。このような根治性を担保しつつ切除肺を極力温存する術式は難易度が高く、一般的には胸腔鏡下手術では困難で開胸下での手術を行う施設が多数です。当科ではそのような症例に対しても以前のような30cm程度の大開胸は行わず、10cm程度の小開胸のみで区域切除術や気管支形成術などの『積極的温存手術』が施行可能です。患者様一人一人の癌の状態、全身状態を判断し、最も根治性が高くかつ最も低侵襲な術式を今後も提供してまいります。

②自然気胸

当院では以前より、自然気胸治療に対しましては外来通院で治療が可能となる外来通院気胸治療キット（ソラシックエッグ）を導入しております。これまでは中等度以上の胸腔ドレナージが必要な気胸の患者様には入院治療が余儀なくされておりましたが、このキット導入によって重度の気胸の患者様以外は外来通院にて治療が可能となりました。さらに当キットで外来通院治療中でもデスクワーク等の軽労作であれば就業可能であり患者様の大きなメリットとなっております。

③ 転移性肺腫瘍

肺は多くの固形癌の主な遠隔転移先であり様々な癌の肺転移が見受けられますが、大腸癌や軟部腫瘍などのように肺転移巣の切除によって明らかな予後延長効果が見られる癌腫も多数存在いたします。当科ではこのような転移性肺腫瘍に対しても積極的に切除術を行い、多くの患者様の予後改善に寄与したいと考えております。肺部分切除で切除可能な症例であれば術後2～4日、位置的にやや困難で肺区域切除が必要となる症例でも術後5～7日で退院可能となります。悪性腫瘍肺転移でお困りの症例がございましたら、気軽にご相談ください。

最後に

呼吸器の外科的治療にお困りの際は、何なりとご相談いただければ幸いです。セカンドオピニオンにも対応いたします。

今後とも、関東労災病院 呼吸器外科をより一層、お引き立ていただきご指導・ご鞭撻を賜りますことを、心よりお願い申し上げます。

インターネットを利用したオンライン予約サービスのご案内

■ オンライン予約サービスとは

オープンなインターネット環境により地域医療機関との多彩な連携を支援するオンライン予約システムのことで、**24時間簡単かつ、確実に予約ができます**

当院では、厚生労働省の政策である“病院と診療所の機能分担(医療連携)”に積極的に取り組んでいます。その一環として、当院では、地域医療に携わるかかりつけの先生が大掛かりな検査や高度な医療が必要と判断された場合に、各種の画像診断を、インターネットで**24時間いつでも予約できるシステム**を構築し活用しております。

*従来通り電話での予約も可能です。

*地域医療機関からの予約のみとなります。患者様から直接、予約することはできません。

■ 予約可能な検査の種類

造影CT、単純CT、MR、頭頸部MR

■ 新規登録(ユーザID、パスワードの発行)

検査内容・お申し込みのお問い合わせは下記までご連絡ください

【地域医療連携室】 TEL：044-435-5031

【受付時間】 平日 8:15～17:00(土日・祝日及び年末年始は除く)

ブリッジとは・・・(橋)：医療機関との橋渡し、患者様と医療機関との橋渡しという意味。